

大学職員組合員の皆様へ : 五十嵐寮におけるエアコン未設置問題に関する状況説明

組合員の皆様、日頃より組合活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、老朽化した五十嵐寮におけるエアコン未設置問題について、組合員の学生・院生より詳細な資料が提出されました。この問題は、寮生の生活環境に重大な影響を及ぼすため、組合として看過できない状況です。

以下に、提出された資料に基づき、経緯を時系列順に整理し、現在の状況と問題点を明確にいたします。

○時系列経緯

* 2021年

* 7月21日: Tさん(当時、五十嵐寮B棟寮長)が学生支援課に対し、娯楽室(エアコン完備の共有スペース)へのWi-Fi設置を提案。熱中症対策として、娯楽室でのオンライン授業を可能にする目的。

* 7月28日: 学生支援課から、Wi-Fiの新規回線敷設は困難であるため、モバイルルーター設置を提案される。

* 8月11日: ドコモショップとの打ち合わせ日程が決定。

* 8月19日: ドコモショップ担当者と打ち合わせを実施。

* 9月24日: 学生支援課から、モバイルルーターの見積書が提示される。

* この時点で、寮内執行部会でルーター導入を検討するも、月々の利用料が課題となり、導入の是非は翌春以降に決定。また、この頃には気温が下がり、緊急性が薄れたため。

* 2022年

* 1月4日: 学生支援課から、新寮生募集の連絡とともに、簡易エアコン導入には予算不足であり、大学予算からの補填はA棟(男子寮)との不公平を招くと説明される。

* 1月24日: Tさんが、入寮者の部屋を移動させる「プチ引っ越し」を提案。2部屋で20アンペアの電力契約という情報をもとに、定員を減らして部屋を隣接させないことでエアコン導入の可能性を探る。

* 1月31日: 学生支援課から、半導体不足のため冷風機導入が困難であるとの連絡を受ける。ただし、今後も手配は進めるとのこと。また、プチ引っ越しは冷風機納品確定後に行うことで合意。

- * 2月21日: プチ引っ越し対象者へメールを送付。移動対象となる部屋を把握するため。
- * 2月28日: 開けておいてほしい部屋を学生支援課へ連絡。
- * 3月4日: 学生支援課から、寮の電源容量が不足する可能性があるとの連絡が入る。
- * この間、プチ引っ越し対象の部屋は空けて新寮生を受け入れたものの、Tさんの疲弊や冷風機導入の見通しが立たなくなったことで、計画は頓挫。
- * 5月30日: Tさんが寮長を退任し、学生支援課に現状を確認。
- * 同課からの情報として、以下の点が判明。
 - * 電源問題については、学生支援課長と施設管理課が協議中(結論未定)。
 - * 半導体不足は依然として深刻で、冷風機納品の目処は立たない。
 - * 寮の建て替えは未定で、寮生募集停止の話もない。
 - * 五十嵐寮の寄附金(約400万円、B棟のみ)は、エアコンやWi-Fiに限らず利用可能。
 - * 冷風機とWi-Fiの問題は、異動のため同課後任に引き継ぐ。

○五十嵐寮元女子寮生からの聴き取り：熱中症による救急搬送の経緯

- * 概要: 2024年8月、五十嵐寮の女子寮生が熱中症により救急搬送され、その後退寮を決意。
- * 詳細:
 1. 8月8日: 日中から熱中症気味で体調不良。エアコンのある部屋で休むも回復せず、16時頃動けなくなる。経口補水液を摂取するも改善せず、22時頃、危険を感じて自ら119番通報、救急搬送。
 2. 救急センター: 市内中央区救急センターで2時間ほど治療を受け、1時頃に退院。タクシーで帰寮(交通費約6000円を自己負担)。
 3. 退寮: 精神的ショックから寮での生活継続は困難と判断、家族と相談し翌月初旬に退寮。現在はアパートで一人暮らしだが、経済的に苦しい状況。
 4. 当時の寮の状況:
 - * 4月に入寮したばかりの学部1年生。
 - * 6月から真夏日が続き、最上階4階の部屋は日中非常に暑く、夜間も寝苦しい状態。
 - * 扇風機2台や氷パックなどを利用するも効果なし。
 - * 7月からは友人の家に泊まるのが頻繁に。
 - * 寮の共同スペース(六畳)にはエアコンがあるが、部屋では睡眠が困難。
 - * 他の寮生も暑さで苦労している。
 5. 大学の対応:

* 寮生からのエアコン設置要望に対し、大学側は「新寮生募集停止」「新寮建設」「予算不足」「アンペア数の関係」など様々な理由をつけて拒否。

* 熱中症搬送後、大学からの連絡は電話での短い聴き取りのみで、その後の連絡はなし。

* 結論：寮の劣悪な環境と大学側の無責任な対応に失望し、退寮を決意。

○ 状況の整理

1. エアコン未設置の根本問題：

- * 老朽化した寮の電力容量不足。
- * 大学側の予算不足を理由とした設備投資の遅れ。

2. 計画の頓挫：

- * 半導体不足による冷風機導入の困難。
- * 寮長退任や担当職員の異動による引継ぎの不徹底。
- * 根本的な問題解決を先送りした大学側の姿勢は問題。

3. 深刻な健康被害：

* 五十嵐女子寮では毎夏に熱中症による緊急搬送が発生しており、寮生の健康が著しく脅かされている。

4. その他の問題点：

- * A棟（男子寮）に正面玄関のカードキーがないことによる防犯上の不安。
- * 寮の建て替え計画の不透明さ。

○ 今後の組合としての対応

資料提供者のTさんは、寮費を低く抑えつつも最低限の生活水準を確保し、学生が安心して学業に集中できる環境を整えることを訴えています。

また、大学側が寮の予算不足を理由に十分な対策を講じない一方で、正門近くにソーラーパネルを設置する予算があることについて疑問を呈しています。さらに、熱中症による救急搬送事例からも、学生の生命に関わる問題であることが明らかになりました。

この問題に対し、組合として、以下の対応を進めてまいります。

1. 大学側への要請：

- * 五十嵐寮のエアコン設置に関する予算確保。
- * 早急な電源容量問題の解決。
- * A棟へのカードキー設置を含む、防犯対策の強化。
- * 熱中症対策の徹底と、緊急時の対応マニュアルの作成。

- * 寮の建て替え計画に関する情報公開と、寮生への丁寧な説明。
2. 組合員の意見集約:
 - * この問題に関する組合員の意見を収集し、大学側との交渉に反映させる。
 3. 継続的な状況把握:
 - * 問題解決に向けて、継続的に状況を把握し、必要に応じて適切な措置を講じる。

組合員各位におかれましては、この問題について、ご意見やご要望がありましたら、遠慮なく組合までお寄せください。

今後とも、組合活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上